

大学間連携共同教育推進事業

〈考え、表現し、発信する力〉を培う

ライティング／キャリア支援

取組の概要と 本シンポジウムの趣旨

取組責任者 中澤 務(関西大学)

<http://www.kansai-u.ac.jp/renkeigp/>

<http://twc.tsuda.ac.jp/renkeigp/>

大学間連携共同教育推進事業の目的

- 日本社会の構造変化とグローバル化に対応する人材育成
- 主体的に考え行動し、社会の課題を解決できる多様な人材の育成
- 地域・分野に応じて大学間で連携。教育の質保証システムを共同で構築
- 平成24年度より5年計画で事業を展開

ライティング／キャリア支援

- 〈考え、表現し、発信する力〉
- ライティングにおける多様な力の統合
 - 資料を検索し読解する力
 - データを分析・総合する力
 - 論理的に考える力
 - 表現する力
 - コミュニケーション力
- 学士教育の中で〈生きる力〉を育成する



取組の全体像

□ 取組の五つの柱

- ① ライティングセンターの充実
- ② eポートフォリオの開発
- ③ 評価指標の確立
- ④ カリキュラムとの連動
- ⑤ 社会との連携

本シンポジウムの課題

- 2012年度シンポジウム
ライティングセンター：日本の現状と課題
- 2013年度シンポジウム
日本の大学教育におけるライティングセンターの可能性
－ 米国の先進事例を踏まえて
- 2014年度シンポジウムの課題
ライティング／キャリア支援の更なる発展
 - ①社会との双方向的な連携の実現
 - ②支援ツールの活用(eポートフォリオなど)

eポートフォリオの開発と活用

□ 開発方針

- ① 「考え、表現し、発信する」能力を備えた人間を養成することを目的
- ② 両大学のみならず、他大学への波及も視野

□ 開発体制

両大学の教職員と開発企業の共同開発

eポートフォリオの開発と活用

□ 開発プロセス: ユーザ中心設計

→ ユーザビリティを考慮したシステム開発手順

① 利用状況の理解と明示

→ **行動観察調査**等の質的調査

② ユーザ要求の特定

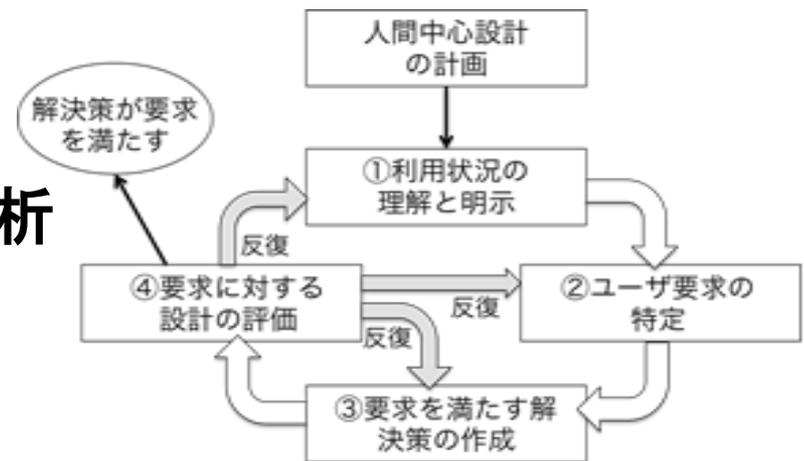
→ **ペルソナ・シナリオ法**による分析

③ 要求を満たす設計の作成

→ **プロトタイプ(試作)**の作成

④ 要求に対する設計の評価

→ **ユーザビリティテスト**の実施



(樽本、2014)

eポートフォリオの開発と活用

□ TECfolioの主要機能

コミュニティ	<ul style="list-style-type: none">・授業や課外活動において議論する場。・議論を通して生成される学生の成果物を収集する場。
ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none">・集約された成果物を選択したうえで、メンターとともにポートフォリオを形成し、学修活動を振り返る場。
ショーケース	<ul style="list-style-type: none">・ポートフォリオを他者に発信する場。・設定した範囲内で相互参照できる場。

eポートフォリオの開発と活用

□ 今後

- ① プロトタイプを検証、評価
- ② システムの実装、両大学での運用と評価
- ③ 他大学への展開

参考資料 TECfolio — コミュニティ

TECsystem ★TECfolio ■ライティングセンター ◆文章作成ガイド ▼キャリア支援 カレンダー 千里みどり ?

■コミュニティ

授業 課外活動

2014年度 春学期 金1: 知のナビゲーター

担当: 山手博 メンバー: 8名 シラバス

授業概要 個人フォルダ 全員グループ Aグループ Bグループ Cグループ

◆連絡事項・今後の予定

◆授業概要

テキスト『知のナビゲーター』に沿って、上記の内容を展開します。
(A)資料のポイントをつかむ: 文献・資料を的確に読む能力。
(B)レジュメ・サマリーを作る: 文献・資料の内容をまとめた文章を作成する能力。
(C)レポート・論文を書く: テーマに応じて、自分自身の見解を論理的にまとめた文章を作成する能力。
(D)プレゼンテーション: 調査した内容や自己の見解を口頭で発表する能力。
(E)ディスカッション: 発表内容を的確に聞き取り、質疑、議論する能力。
(F)モチベーションを高める: 人文学の研究への動機づけやテーマ発見。
(G)図書館・コンピュータの利用技術: その他、大学での学習に必要な技術の習得。

◆到達目標とルーブリック

大学で学ぶための基礎的スキルを身につけ、「読む」「聞く」「考える」「調べる」「書く」「発表する」「議論する」といった一連の行為をきちんと行えるようになる。

レポート作成 グループワーク 課題解決 論理的思考

回	月/日	タイトル	教材
1	04/09	全体説明会	
2	04/16	ガイダンス、アイスブレイク(自己紹介)	
3	04/23	クラスメイトの話を聞く(インタビュー)	
4	05/07	クラスメイトを紹介する文章を750字で書く	
5	05/14	資料を読んで分析し、要約する	
6	05/21	論理的な文章を書く	
7	05/28	説明のプレゼンテーションを準備する	
8	06/04	説明のプレゼンテーションをする	
9	06/11	説得のプレゼンテーションを準備する	
10	06/18	説得のプレゼンテーションをする	
11	06/25	ディスカッションする	
12	07/02	ディスカッションの結果をレポートにする	
13	07/09	ディベートを準備する(1)	
14	07/16	ディベートを準備する(2)	
15	07/23	ディベートとふりかえり	

掲示板と共有フォルダ

資料提示と課題収集

ルーブリックの提示

参考資料 TECfolio — ポートフォリオ

The screenshot displays the TECfolio web interface. At the top, there is a navigation bar with 'TECsystem', '★TECfolio', and various menu items like 'ライティングセンター', '文章作成ガイド', and 'キャリア支援'. The user's name '千里みどり' is visible in the top right.

The main content area is titled 'ポートフォリオ' and has tabs for 'ライティング', 'キャリア', and '自己紹介'. The 'ライティング' tab is active, showing a form for creating a portfolio entry. The form includes fields for 'テーマ' (Writing), '最終目標', and '説明'. Below these is a section for '【目標1】 作文コンテストに応募する (2014. 4.15)', with sub-fields for '説明', '報告', and '振り返り'. A 'ファイル' section contains two files: '男女共同参画法' and '死刑制度', with a 'ファイルを追加' button.

Below the files is a table for rubric evaluation:

評価	ルーブリック名	自己評価	メンター評価
	文章表現①	★★★★	★★
	プレゼンテーション	★★★★	★★★★

A '評価を追加' button is located to the right of the table. Below the table is a '+目標を追加' button and a 'メンターのコメント' field.

On the right side of the interface, there is a 'メンター(助言者)' section with a placeholder image and the name '山手太郎 ライティングラボTA'. Below this is a search box for mentors with the text 'メンターを依頼する' and '氏名を入力してください'.

At the bottom right, there is a yellow button labeled 'ショーケースへ公開する'.

成果物の選択

ルーブリックによる評価

メンターの指定

参考資料 TECfolio — ショーケース

公開された
ショーケース

The screenshot shows the TECfolio website interface. At the top, there is a navigation bar with 'TECsystem', '★TECfolio', and various menu items like 'ライティングセンター', '文章作成ガイド', and 'キャリア支援'. The user's name '千里みどり' is visible in the top right. Below the navigation bar, the page title is 'ショーケース'. There are two tabs: '自分のショーケース' (My Showcase) and '他者のショーケースを検索' (Search for other showcases). The '自分のショーケース' tab is selected. Below the tabs, there are four sub-tabs: 'ライティング' (Writing), 'キャリア' (Career), '自己紹介' (Self-introduction), and 'オーケストラ' (Orchestra). The 'ライティング' tab is selected. A dropdown menu for '公開範囲' (Public range) is open, showing options: '一般' (General), '公開承認者' (Public approval), and '山手太郎 (文学部)' (Yamamoto Taro (Faculty of Letters)). Below this, there is a section for '◆説明' (Description) and a list of showcase items. Each item includes a title, creation date, and content. The first item has a title '若者のコミュニケーションの変容とパーソナルメディア' and a creation date of 2012年6月25日. The second item has a title '青年期の主観的幸福感—インターネット利用および友人関係との関連' and a creation date of 2013年1月30日. The third item has a title 'インターネット利用が大学生の孤独感に与える影響' and a creation date of 2013年7月27日. The fourth item has a title '若者のコミュニケーションの変容とパーソナルメディア' and a creation date of 2012年6月25日. Below the showcase items, there is a section for '◆コメント' (Comments) with the text '公開されたショーケースに対する他者からのコメントが入ります。' (Comments from others will be posted for the public showcase). There is a text input field for 'コメントしてください。' (Please comment.) and a '投稿する' (Post) button.

他者のショーケースを閲覧

公開範囲の
設定

公開された
ショーケースへ
のフィードバック